

IOS を用いたチェアサイド・ラボサイドとの連携の実際



SHAFT

瓜生田 達也

近年歯科業界に於いて、まだ完全ではないながらも CAD/CAM システムを応用した歯科技工が全体的に浸透しつつある状況と言える。そしてそれに伴いチェアサイドでも口腔内スキャナー(IOS)にて採得されたデータを元に補綴装置を製作する機会が年々増加傾向にあり、今後も増加の一途を辿ると予想される。しかしながら欧米諸国に比べ IOS の普及率はまだ低く、IOS 関連の文献、セミナー等も徐々に増加傾向にはあるが、まだ身近な臨床での経験値と情報量が不足しているのが現状である。そしてその事が起因し臨床に於いて何かしらのエラーが起こり再製作に至る場合がある。そこで今回は臨床でのエラーを回避する為の勘所を、シロナコネクト・3D プリンター等を用いた実際の臨床例をもとにチェアサイド・ラボサイドの両観点から探っていきたいと思う。

略歴

1977 兵庫県生まれ

1998 兵庫県歯科学院専門学校 卒業

1999 大阪セラミックトレーニングセンター全日 15 期 卒業

1999 カロスデンタルジャパン 勤務

2002 Dr.Daftary 歯科医院 (アメリカ) 勤務

2005 中川歯科医院 勤務

2008 日本口腔インプラント学会専門歯科技工士取得

2009 SJCD テクニシャンコース 13 期 修了

2013 SHAFT 開業

2013 パナソニックデンタル社インストラクター

2013 白水貿易 VITA 社 公認トレーナー

所属スタディグループ・学会

Voce.C.C.Claymore

F.D.P

日本口腔インプラント学会

日本臨床歯科 CAD/CAM 学会